



事業報告・決算など可決承認 令和3年第2回通常総会開催

令和3年7月30日、日赤会館会議室で令和3年第2回通常総会が開催された。令和2年度事業報告ならびに各会計決算等について審議され、議決事項15議案がいずれも可決承認された。

**情勢に合わせた
大幅な見直しが必要**

開会のあいさつに立った本会の中芝理事長は、国保連合会を取り巻く情勢として、全国の国保連合会が運用している国保総合システムについて、令和6年度の更新にあたり、クラウド化が予定されていることに言及した。

また、国では審査支払業務改革が進められている中「次期システムについては、支払基金の新システムとの受付領域の共同利用や審査における整合的なコンピュータチェックルールなどが求められており、対応には大幅なシステムの見直しが必要な見込みとなっている」と述べた。

15議案を可決承認

その後、議長に中芝岩出市長を選出し、議事に入った。

議決に先立ち、事務局から令和2年度事業について報告したほか、2年度一般会計および各特別会計歳入歳出決算ならびに3年度補正予算等について説明した。



開会のあいさつに立った中芝理事長

事業報告では、保健事業の推進として、令和2年度が第2期データヘルス計画の中間評価を実施する年度であったことから、保健事業支援・評価委員会において、保険者に対して事業の進捗状況の確認および目標の達成状況の評価を行うとともに、評価後の計画見直しについて支援したことや、基幹システムの安定運用およびオンライン資格確認の運用開始に向けた対応として、オンライン資格確認等システムの運用に対する現行業務への影響調査や運用テストを行ったことなど、6つの基本方針に基づいた取り組みを挙げた。

上程した15議案については、慎重なる審議の結果、すべて原案のとおり可決承認された。